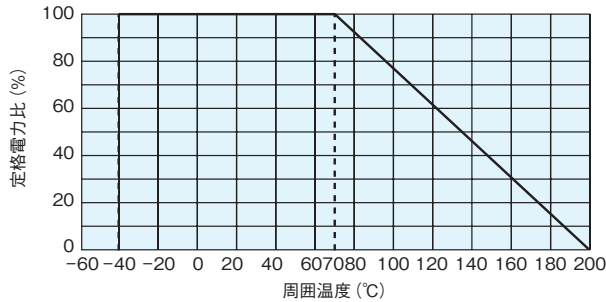
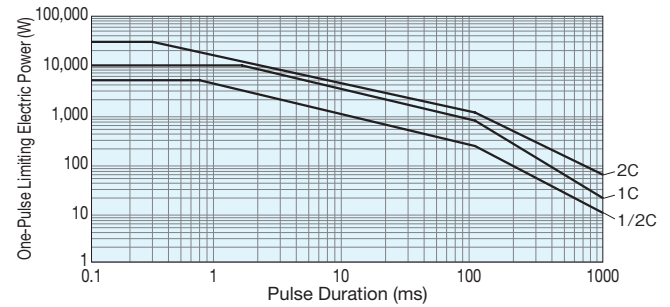


■ 負荷軽減曲線



周囲温度70℃以上で使用される場合は、上図負荷軽減曲線に従って、電力を軽減してご使用ください。

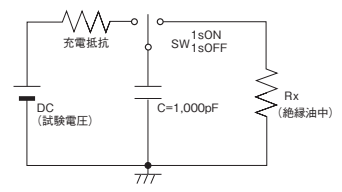
■ ワンパルス限界電力曲線



※印加可能な電圧の上限は最高過負荷電圧になります。
パルスを連続して印加する場合の耐性はお問い合わせください。
本データは参考値ですので、ご使用の際は必ず実機での確認をしてください。

■ 性能

試験項目	規格値 $\Delta R \pm (\% + 0.05 \Omega)$		試験方法					
	保証値	代表値						
抵抗値	規定の許容差内	—	25°C 抵抗値 3.3Ω ≤ R < 10Ω 測定電圧 10Ω ≤ R < 100Ω 1.0V 100Ω ≤ R ≤ 390kΩ 3.0V					
			抵抗温度係数	—	+25°C / -40°C、+25°C / +75°C、+25°C / +125°C			
						電圧係数 (1kΩ以上に適用)	—	0 ~ -0.20% / V
高圧パルス	右表による	—	試験回路にて、下表の試験電圧に充電されたコンデンサから1秒ON、1秒OFFで10000サイクル、抵抗器へ高圧パルスを印加する。					
			品名	試験電圧	規格値 $\Delta R \pm (\% + 0.05 \Omega)$			
			PCF1/2	10kV: 4.7Ω ≤ R < 10kΩ	5			
				10kV: 10kΩ ≤ R < 33kΩ	10			
			PCF1	10kV: 33kΩ ≤ R ≤ 100kΩ	25			
				4kV: 10kΩ ≤ R ≤ 100kΩ	5			
			PCF2	14kV: 3.3Ω ≤ R < 30kΩ	5			
14kV: 30kΩ ≤ R ≤ 390kΩ	10							
PCF2	20kV: 3.3Ω ≤ R < 10kΩ	5						
	20kV: 10kΩ ≤ R ≤ 390kΩ	10						
11kV: 10kΩ ≤ R ≤ 390kΩ	5							
はんだ耐熱性	2	0.8	350°C ± 10°C、3.5s ± 0.5s					
温度急変	2	0.4	-40°C (30min.) / +85°C (30min.) 5 cycles					
耐湿負荷	5	0.6	40°C ± 2°C, 90% ~ 95%RH, 1000h 1.5時間 ON / 0.5時間 OFFの周期					
定格負荷	5	0.4	70°C ± 2°C, 1000h 1.5時間 ON / 0.5時間 OFFの周期					
耐溶剤性	外観に異常がなく、表示は容易に判読できること。	—	イソプロピルアルコール又はキシレンに3分間漬け、除滴後10分間放置してブラッシングを10回行う。					



■ 使用上の注意

- 雷等のサージが発生しやすい環境下において、開回路で使用される抵抗器や、入力、出力、グランドに直結している抵抗器や、パルスが印加される回路で使用される抵抗器は、サージやパルスにより抵抗器が破壊される可能性がありますので、可能性のあるサージやパルスに対し、ワースト状態を想定して十分なチェックを行なった上で抵抗器を選定することが必要です。
- 外装塗装が難燃性特殊塗料の為、外部衝撃に比較的弱いので取り扱いにご注意ください。洗浄は最小限にしてください。洗浄直後は多少塗装膜が弱くなりますので、十分に乾燥するまで塗装膜に外力を加えないでください。乾燥後、元の強度に戻りますので、洗浄後約20分間は抵抗機の塗装膜に外力が加わらない様に配慮ください。特に基板の積み重ね等は行わないでください。
- 本製品は断線しにくい為、回路部品の故障などにより過負荷が継続的に印加されると、抵抗体が過熱し続けて抵抗器や周囲の可燃性物質から発煙したり、引火したりする可能性があります。通常使用中及び異常発生時に、本製品の表面温度が200℃以上にならないように回路を設計してください。

高電圧用抵抗器